

受けましょう！女性の

がん検診

他人事ではありません

・日本人の約2人に1人ががんにかかるといわれ、誰もがかかる可能性のある病気です。

自覚症状がない人こそ対象です

・無症状のうちに「がん」を早期発見し治療することが大切です。健康な人ほど受けて下さい。

早期発見、治療が「鍵」

・早期に治療すれば90%以上が治ります。
・2年に1度は必ず検診を受けましょう。

★ がん検診は検診料の約2割の金額で受けられます！

お得！



- 乳がん検診 1,100円(検診車:1,100円)
- 子宮頸がん検診 1,700円(検診車:1,000円)

※自覚症状がある場合は、がん検診を待たずに医療機関を受診しましょう。
※裏面は検査方法やメリット、デメリットが紹介されていますよ読んでおきましょう。

★ がん検診の目的は、早期発見により、そのがんで死亡する可能性を減少させることです！

乳がん ～女性が最も多くかかるがんです！～

乳がんは罹患率・死亡率ともに増加傾向にあり、女性がかかるがんの第1位です。乳がんにかかる人は30代から増加し始め、50代前後を中心に最も多くなります。早期発見でほぼ治癒するため、治りやすいがんといえます。

若い人ほど受けて下さい。手遅れになる前に2年に1度は、必ずがん検診をうけましょう！

子宮頸がん ～20歳を過ぎたら注意が必要です！～

子宮頸がんは若年層で増加傾向にあるため、20歳を過ぎたら検診が必要です。



※ 対象年齢は年度末年齢です。

【問合せ先】健康福祉課健康係 ☎52-1116

がん検診の対象と主な検査方法

乳がん検診

- 【対象】40歳以上の女性
- 【頻度】2年に1回
- 【検診方法】検診車での実施（要予約）
- 【検査項目】

- ・問診

- ・マンモグラフィ

⇒乳房を上下左右から挟んで撮影する専用のX線検査装置で、小さながんも発見できます。ただし、妊娠中は受けられません。



子宮頸がん検診

- 【対象】20歳以上の女性
- 【頻度】2年に1回
- 【検診方法】賀茂郡内の医療機関で実施（要予約）
- 【検査項目】

- ・問診・視診・内診

- ・子宮頸部細胞診

⇒視診・内診では医師が子宮頸部の状況を診察。子宮頸部の細胞診では、ブラシなどで子宮頸部を軽くこすり、細胞を顕微鏡で調べます。



★がん検診受診後、精密検査が必要となった方は、必ず精密検査を受診するようにしましょう。

がん検診の目的は、早期がんの発見と早期治療で、がんで亡くなる方を減らすことです。

○検診のメリット・デメリット

ここで勧めているがん検診は総合的にみて検診を受けるメリットがデメリットを上回るものですが、デメリットも考慮し両方を理解したうえで受診しましょう。

【メリット】

- ・健康な人からは早期がんが多く発見され、早期がんはそのほとんどが治り、しかも軽い治療ですみます。

【デメリット】

- ・100%がんが見つかるわけではありません。がんそのものが見つけづらい場所にあたり見つけづらい形である可能性があるからです。
 - ・がんがなくても精密検査や治療が必要と判定される場合があります。
 - ・ごく稀ですが、検査による合併症が起こる場合があります。
- ※ かかりつけ医のいる方は相談するなどしたうえで決めると良いでしょう。

